

区内幸町2-1-4
akai@tokyo-np.co.jp

通信局・部

武蔵野 0422-43-2134
八王子 042-656-2313
np.co.jp 町 田 042-524-0061

購読のお申し込み
0120-026-999

配達・集金お問い合わせ
03-6910-2556

広告のご用命
03-6910-2489

諸願祈願

鹿野山神野寺

☎ 0 4 3 9 (3 7) 2 3 5 1

都心



停電時 高層マンション燃料補給

大地震時の停電に備え、港区港南の高層マンション「ワールドシティタワーズ」(WCT)の住民は14日、非常用発電機の燃料補給のため、タンカーをマンション棧橋に着ける訓練をした。都内の高層マンションは、港区や中央区など臨海部を中心に400棟以上あり、過去10年で倍増。だが安全確保のための消防法令の壁もあり、行政による震災時の燃料補給対策は進んでいない。(中山岳、小林由比)

法令の壁 行政の対応後手

港区では全国に先駆け訓練

海路を模索

WCTの住民約十人は訓練で、接岸した夕



ンカーから伸びるホース二十五メートルを協力して持ち上げ、棧橋の階段を上ってマンション玄関前に運んだ。三棟に計五千人が暮らすWCTは、地下二階に大型の非常用発電機と三千五百リットルの重油タンク一つを備える。備蓄燃料は約六時間で切れるため、補給しないとエレベーターや館内放送も使えない。高層マンションが集中する港区は災害時の基本方針で、おおむね十階以上のマンションの住民に一週間程度、自活できるよう食料備蓄などの対策を求めている。しかし、備蓄燃料

昭信 昭和信用金庫(本店・世田谷区)は十四、十五の両日は、食の祭典「TOKYO三ツ星パザール」を新宿駅西口広場イベントコーナーで開いた。都内の菓子や食品製造・販売会社を含む六十社が出展。特産品を求め、意義を語った。東北地方応援コーナーも場内に設置。福島県南会津地方振興局の小野一浩主任

新宿で食の祭典 特産品求めにぎわう



ゴなど旬の野菜や果物のおいしさを実感してもらい、実際に会津に来てもらおうと、きょうかけになれ

ただだと四〜六時間しか発電できない建物が多い。WCTの防災委会長吉村誠さん(金)は「大地震で近くの橋が落ちればこの地域は陸の孤島になる。発電し続けられるようにしたい」と訓練の狙いを話した。消防法は、所轄の消防長や消防署長の承認があれば、指定数量を超す燃料の貯蔵や取り扱いを仮に認めている。東日本大震災後の昨年三月十六日、総務省が「燃料補給は今年度、仮取り扱いは申請方法や安全対策をどうするかといった問題も。港区防災課の担当者」は「燃料補給は今年度、陸路からを前提に考えざるを得ない」と話す。都による燃料補給は他の区でも難題という。都震災対策課は、災害時にマンションなどが燃料業者から補給を受けられる仕組みを検討中だ。

「マニュアル作り」 中央区内の六十以上の高層マンションは四十五棟。区は最低二日は自宅にとどまれる備えを住民に求めている。防災アドバイザーを派遣して管理組合を支援し、高層マンションの防災マニュアル作りを進める。「大川端リバーシテ(佃)の分譲マンションでは、東日本大震災後、四棟のうち三棟のマニュアルが完成した。各種の非常用発電機の利用も明記する。発電機を備蓄燃料で動かせるのは六時間だが、区防災課の担当者「電気が供給される設備や容量を住民それぞれが知り、エレベーターを三時間ずつ二日に分けて動かすなど、有効に使ってほしい」とアドバイス。停電時の燃料補給には「実際に病院や老人施設といった要援護者がいる施設などが優先されると思う。物流の混乱やタンクまでの運搬を考えると難しい面はある」と話し、課題を残す。

第35回 少年サツ(都サツ)少年サツ 催、東京 日スポー・コラ 援、が十 羽スポー 技場で開 新町FC 田JFC して初優勝 谷東部J 4位はO 子)だった

地震、停電…タンカーから燃料補給

高層マンション 港区

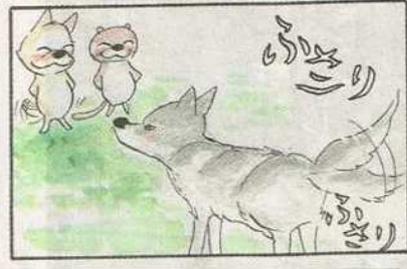
あす接岸訓練

大地震による停電に備え、東京都港区の京浜運河沿いにある高層マンションの住民が十四日、非常用発電機の燃料補給のため燃料タンカーをマンション棧橋に接岸する訓練を行う。災害時の港区の基本方針は、十階以上のマンションの住民に一週間ほど自活できるよう食料備蓄などの対策を求めている。燃料備蓄に着目した訓練で全国初とみられる。(中山岳)



大型高層マンション「ワールドシティタワー」=12日、東京都港区港南で、本社ヘリ「おおづる」から

おーい栗え助 森栗丸



品川駅東側の港南地区にある「ワールドシティタワーズ」(WC)では国内最大規模で、二階建てのマンション非常用発電機を備え、燃料の重油を三・五トン備蓄している。備蓄燃料で発電機を動かせるのは六時間ほどで、停電が長引けば燃料がなくなり発電できなくなる。東京都が示す首都直下地震の被害想定は、停電が六日ほど続く恐れも指摘

燃料がなくなり発電できなくなる。東京都が示す首都直下地震の被害想定は、停電が六日ほど続く恐れも指摘

東京拘置所で接見中 侵害されたとして、東京弁護士会の竹内明美弁護士(三)もが十二日、一千万円の国家賠償を求め、拘置所での撮影をめぐる同種提訴は全国で二例目。

訴訟によると、竹内弁護士は三月、接見した自称ソマリヤ人被告(海賊対処法違反罪で起訴)の体調が悪く、

接見時撮影 正当と提訴

東京拘置所 弁護士「交通権侵害」

もあるとし「自家発電用発電機を数時間しかを一週間続けるために海上から補給できればいい」と話す。訓練は、燃料タンカーが横浜から東京湾に向かい、WCの棧橋に接岸。実際に給油作業はせず、燃料を運ぶために必要なホースの形などを確認する。WCのある港区の臨海部は高層マンションが集中しているが、備蓄燃料だけでは非常用発電機を数時間しか動かせない建物が多く、災害時の燃料補給が課題になっている。WCの自治会や臨海部の他の高層マンション五棟の住民は二〇〇八年、災害時に海上から燃料を調達することを目指して「港区・高層住宅の防災を考える会」を設立。今年九月、横浜市の石油製造販売会社と災害時の燃料補給の協定を結んだ。

札幌地裁の文書 偽裁判 札幌地裁の二性書記官が民事裁判に移送する立したことが発覚。うにするため、偽の裁判を開か工作をしていった。札幌地の懲戒処分と

海沼実の歌の教科書
海沼実著 A5判 並製 176ページ 定価1,470円(本体1,400円+税)
※本誌を宅配でご購読の方は販売店でも取り次ぎます。
東京新聞出版部 〒100-8505 東京都千代田区千代田2-1-4
TEL 03-5910-2527 FAX 03-3595-4831
http://www.tokyo-np.co.jp/tbook
中日新聞東京本社

強制的に接見を終了させられた。拘置所長は五月、東京弁護士会に竹内弁護士の懲戒を申し立てた。竹内弁護士は「写真撮影や録画が



